

消防音楽隊について

消防音楽隊は啓発活動のみならず、多くの楽隊として多くの市民に愛されているが、現在、嘱託を入れてわずか21名の組織となり実際の出演時には14、5名の編成であることも多く、誠に寂しい。文化的な事業が、税金の無駄遣いと批判されがちな風潮があるが、費用対効果といった問題ではなく、多くの心を動かし市民の心を一つにしてくれる音楽こそが今の市政にとって必要だとしている。部活で「ブラスバンド」をしている生徒らにとっては、学校で間近に演奏を鑑賞できる機会は大変刺激的な経験で、神戸市で晴れらしいプロが活動していることが大きい憧れで、励みになる。また、わが街への誇りを育てることにも繋がる。今年2月に開かれた「きらめきコンサート」では結成60周年

との打ち出しもなく、案内も限定的ではなかった。消防広報以上の存在意義を認め、より文化振興事業として自信を持つ活動の幅を広げるべきではないか。

答

(天田市長) 消防音楽隊の活動は神戸市が主催する行事等を中心にしてきたが、それ以外にも消防の事業の広報として、外国のクルーズ船が入港した時に歓迎演奏をするなど神戸のおもてなしの心の役割を果たしている。

一時、事業の見直しをした際に、消防音楽隊の存在について議論があつたが私はその時、消防音楽隊の意義は単に費用対効果の問題ではなく、実は多面的な活動をしていることを位置付けておくことが先決ではないかと言った。

各区の区民ホールでの演奏なども行っており、また東遊園地で毎の時間の演奏、更に防災教育の観点から、「いのちのコンサート」という地元の中学校との合同演奏会で、プロの演奏を子供達に学んでもらっている。今後、様々な機会を捉えて参加するとともに、演奏会の広報にも留意をしていく。神戸の文化振興の一翼を担うものとしての位置付けも必要なので、今後おもに市民のみなさんの支援をお願いしたい。



議員研修会開催のお知らせ

テーマ

「地震を知って震災に備える」

- 日時: 5月10日(金)
14時~15時半
- 場所: 28階第4委員会室
傍聴定員40人(先着順)
- 講師: 元京都大学総長、現京都造形芸術大学長
尾池和夫氏

どなたでも
是非傍聴にお越し下さい。

各種の市会広報をご覧ください。

- 市会だより
(5月、8月、12月、1月発行)
- 市会ホームページ
<http://www.city.kobe.lg.jp/sikai/>
- 市会メールマガジン
- 市会事務局フェイスブック
(今年2月12日開始)

■平成25年第1回定例市会 予算特別委員会局別審査

要旨
(抜粋)

環境局

路上喫煙対策について

問 路上喫煙禁止地区内に喫煙場所が設置されているが、場所によっては利用者のマナーに問題がある。例えば、フランクリン前の喫煙場所には、たばこの吸殻だけではなくごみや食べかすがいつも散乱し、三宮の玄関口にふさわしくない。場所や管理方法に配慮が必要ではないか。

また、神戸市庁舎は受動喫煙防止の観点から、全面禁煙で、また、周辺の企業にも同様の取組みが増えていることから、庁舎周辺に設けられた限られた喫煙スペースに人が集中し、歩行者に不快感を与える状態となっている。むしろ庁舎敷地内に喫煙スペースを設けてはどうか。

答 平成20年に「神戸市ぼい捨て及び路上喫煙の防止に関する条例」を施行し、禁止地区内の違反に過料処分を行っている。喫煙禁止の実効性を高める観点から、環境局が喫煙所を設置しているが、一部でご指摘のような苦情が寄せられている。現在も利用マナー啓発看板を設置しているが、施設面でも改善を検討し、非喫煙者にも配慮した喫煙所となるよう努める。

市役所周辺の民有地の喫煙スペースで、喫煙マナーの点で一部問題がある状況は認識している。ただ、関係局とも協議したが、健康増進法に基づく受動喫煙防止対策の観点から、庁舎内全面禁煙を実施しており敷地内での喫煙スペースの設置は非常に難しい。

要 これからは徴収した過料を喫煙場所の美化にも使っていいってはどうか。汚しにくい美しい喫煙所にしていただきたい。



その他 ●環境モデル都市

- ごみの減量・資源化
- 食品リサイクルの推進
- コミュニティサイクル

市会ホームページで映像配信中!
<http://shikai.city.kobe.lg.jp/db-search/>

建設局

六甲山の間伐材の利用促進について

問 間伐材を搬出しての有効利用については、平成24年度東灘処理場におけるバイオガス製造補助での利用見込みが約107tある他は、有効利用ができる。六甲山森林整備戦略によると、間伐が本格的に進むと最大で1,300tほど間伐材が出るそうだが、ガス化補助の活用能力は年間約800tで、将来的には間伐材の利用法の検討が必要だ。木質バイオマスとしての活用もあげられているが、薪やペレットにして直接ストーブの熱エネルギーとした方がエネルギー効率という観点から優れている。六甲山のPRという観点からも、薪やペレットの利用の方が市民に身近に感じやすく、森林整備に対する市民の理解が深まり、ブランド化にもつながる。まずは、六甲山上の施設でモデル的に薪・ペレットストーブを導入し、普及促進を図ってはどうか。

答 六甲山の伐採木は、これまでガス化補助以外にも、現地での土留や、ハイキング道の補修、堆肥として利用しているケースもある。今後、森林整備が進めば伐採木も増加するので更なる活用策を検討していく必要がある。薪やペレットのストーブなどは、有効活用策として非常に分かりやすく、森林整備に対する市民の理解を深めていくにつながると考える。伐採木を六甲山内で消費できれば、運搬などの効率化にもつながる。まずは、森林植物園などを対象に検討していきたい。



その他

- 県民緑税事業の取り組み
- 新長田駅南地区の放置自転車対策
- 港都・神戸グランドデザインの取り組み

平井まち子 自由民主党 神戸市会議員



□1976年神戸市長田区生まれ(36歳)
□池田小、西代中、長田高校、神戸大学(文学部史学科)卒業 □神戸電子専門学校を修了、市内の広告代理店に勤務、タウン誌の制作などに携る。 □2005年10月の神戸市会補欠選挙にて10,436票をいただき初当選。
□2007年市会議員選挙で5,413票をいただき最も10票差で惜しくも次点。□2011年市会議員選挙で5,525票をいただき再選。

役職

- 自民党神戸市会議員団 政調会長
- 都市防災委員会 委員
- 大都市行財政に関する特別委員会 副委員長
- 長田神社氏子会参与
- 神戸金型工業会相談役
- 長田鮨商組合顧問
- 真珠神戸市会議員懇談会 事務局長
- 兵庫県盲導犬協会顧問
- 池田自治会顧問

地域活動

ご相談・お問い合わせ

■自由民主党神戸市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 市役所1号館28階
電話 078-322-5846 Fax.078-322-6164

■長田区支部 平井まち子事務所
〒653-0843 神戸市長田区御屋敷通6-1-11
電話&Fax. 078-643-0647(月~金 9時~17時)
eメール machiko.h@earth.ocn.ne.jp

神戸市総合コールセンター 神戸市の総合的な窓口です。ご活用下さい。

年中無休受付中 (8:00~21:00) **078-333-3330**